

前田正名関係文書（その2）目録

2019年4月

国立国会図書館憲政資料室

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R1	2～8	1		安楽兼道書簡	安楽兼道	前田正名	〔明治〕6月12日	この手紙を持参した者の話を聞いてやっていただけないか	1通
R1	10～19	2		荒尾精書簡	荒尾精	前田正名	〔明治23年〕6月28日	日清貿易研究所の試験状況。合格者にぜひご訓示をいただきたい。	1通
R1	21～26	3		伊集院五郎書簡	伊集院五郎	前田正名	〔明治38年〕12月13日	角田中将死去、出羽中将が幹事となり、海軍葬儀で執行の予定。	1通
R1	28～33	4	1	伊藤博文書簡	伊藤博文	前田正名	明治27年12月20日	御家兄死去は黒田伯より承知。叙勲は困難だが、叙位は電報で広島に伺い、裁可されるものと信じる。	1通
R1	35～39	4	2	伊藤博文書簡	伊藤博文	前田正名	〔明治〕7月23日	博覧会延長の件、伊藤が農商務大臣に相談したが経費等の問題あり。前田自身が大臣等の農商務省関係者に相談すべき旨を伝える。	1通
R1	41～45	4	3	伊藤博文書簡	伊藤博文	前田正名	11月10日	御送別品拝呈、御解纜の節は横浜にて会う。	1通
R1	47～51	5	1	伊東祐亨書簡	伊東祐亨	前田正名	〔大正2年〕6月21日	豚肉并に徳利はじめ遠来之珍物御恵与感謝	1通
R1	52～55	5	2	伊東祐亨書簡	伊東祐亨	前田正名	〔明治〕7月26日	御申聞の趣拝承。染筆差上候。	1通
R1	57～60	5	3	伊東祐亨書簡	伊東祐亨	前田正名	3月6日	来七日華族会館へ御招待、必ず参堂。何時に参上すべきか電話にてお示し願う。鯉魚二尾進呈、御賞味くだされば大幸の至り。	1通
R1	62～66	5	4	伊東祐亨書簡	伊東祐亨	前田正名	〔明治〕9月13日	海軍中将内田正敏氏が閣下への面会斡旋を懇願するので、予て閣下より御依頼の私の揮毫を持たせて御届方伺わせることに致しましたのでよろしくお取り計らいください。	1通
R1	68～70	6	1	井上馨書簡	井上馨	前田正名	〔明治〕5月15日	来書の趣は差し支えないので承知します。	1通
R1	72～79	6	2	井上馨書簡	井上馨	前田正名	〔明治22年〕7月31日	帰化法二月十一日施行期限延引、生は邦家ニ不親切・短慮なる奴の汚名ハ不勉事と百も承知	1通
R1	81～86	7	1	井上勝書簡	井上勝之助	前田正名	〔明治16年〕1月21日	御無事御帰朝謹賀。いま湯本なので、帰京した後、拝顔に伺う予定。	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R1	88～91	7	2	井上勝書簡	井上勝	前田正名	明治22年11月30日	夕食会の誘い	1通
R1	93～97	8	1	井上毅	井上毅	前田正名	明治25年1月21日	別紙は先日首相へ差し出した意見書の一部です、ご内覧後返却ください。	1通
R1	99～103	8	2	井上毅書簡	井上毅	前田正名	明治25年6月18日	所見熟読。出版之事勸告仕度。章立てについて愚意を申上げる。	1通
R1	105～108	8	3	井上毅書簡	井上馨	前田正名	明治24年1月19日	約束していた今晚の面会を延期したい	1通
R1	110～114	8	4	井上毅書簡	井上毅	前田正名	〔明治25年〕2月10日	報知新聞に大兄連立内閣の主張あり。御参考までに送ります。官有財産法案の御返却をお願いします。	1通
R1	116～120	8	5	井上毅書簡	井上毅	前田正名	〔明治23年〕4月17日	機密調書送る、外国米立相場許容平準化の為に必要、輸入税免税も必要か。	1通
R1	122～125	9		今井書簡	今井	前田正名	6月2日	御書面の件、谷氏に依頼したが、渡辺氏湯治中で返事分らずとの事。今晚伝兵衛を遣わすので、明日には分かる筈。	1通
R1	127～129	10	1	岩村通俊書簡	岩村通俊	前田正名	〔明治22年〕	臨時取調掛設置の建議	1通
R1	131～134	10	2	岩村通俊書簡	岩村通俊	前田正名	大正元年12月27日	大久保公の送別の詩を写取り御覧にいたい。松方侯へもご覧いただきたい。	1通
R1	135～138	10	2 (別紙)	岩村通俊書簡 (別紙)	岩村通俊		明治45年	岩村通俊による大久保利通の回想	1通
R1	140～143	11	1	岩倉具視書簡	岩倉具視	前田正名	〔明治〕6月12日	現在御出輦の準備で多忙なため、先日の御内話の件は後で承りたい。	1通
R1	146～150	11	2	岩倉具視書簡	岩倉具視	前田正名	明治14年11月8日	面会の件	1通
R1	152～155	11	3	岩倉具視書簡	岩倉具視	前田正名	〔明治17年〕7月17日	米納の件等税制問題について相談したい、先日貸した書類一式を持参の上、今夕来てください。	1通
R1	157～159	11	4	岩倉具視書簡	岩倉具視	前田正名	7月5日	来訪の依頼	1通
R1	161～165	11	5	岩倉具視書簡	岩倉具視	前田正名	〔明治〕8月18日	竹根急須を送る。直輸出及為替銀行の義は速に成効してほしく希望。	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R1	167～170	12		江夏蘇介書簡	江夏蘇介	前田正名	11月15日	一昨々日田中氏へは差越申し置いた、明後日に御旅宿へ参楼細事申し上げる。	1通
R1	172～175	13		大浦兼武書簡	大浦兼武	前田正名	〔明治41年〕9月2日	貴簡恐縮。明朝八時御光来を願う。	1通
R1	177～182	14		大給恒書簡	大給恒	前田正名	〔明治14年カ〕10月1日	伊国勲章、仏国文部記章、レジオンドノール勲章佩用願。勲章綬波紋織の義。	1通
R1	184～192	15		大越亨書簡	大越亨	前田正名	5月30日	御建議をもうしばらく拝見したい。遅くとも午前一時までには返却する。	1通
R1	194～197	16		大迫尚敏書簡	大迫尚敏	前田正名	6月17日	前田からの贈り物への大迫の謝意	1通
R1	199～202	17	1	大山巖書簡	大山巖	前田正名	明治33年1月17日	ご依頼のあった祝詞を送ります	1通
R1	204～207	17	2	大山巖書簡	大山巖	前田正名	〔明治22年〕□月17日	お手紙見ました。早速出かけるべきところ、出られませんので車をお願いします。午後お待ちしています。	1通
R1	209～212	18	1	桂太郎書簡	桂太郎	前田正名	〔明治23年〕4月18日	十九日(明朝)十時までには陸軍省出省、十時より十一時の内に待つ。	1通
R1	214～218	18	2	桂太郎書簡	桂太郎	前田正名	2月10日	至急面会したいとの事、来る13日午前9時ならばお待ち申し上げます。	1通
R1	220～224	18	3	桂太郎書簡	桂太郎	前田正名	〔明治〕8月3日	欠敬お詫び。明日十時御来光ください。	1通
R1	226～230	18	4	桂太郎書簡	桂太郎	前田正名	明治45年3月24日	3月26日午前に来てもらえないか	1通
R1	232～239	18	5	桂太郎書簡	桂太郎	前田正名	〔明治44年〕6月7日	来る9日の午前8時または、10日の同時刻にお待ち申し上げます。	1通
R1	241～244	19	1	川村純義書簡	川村純義	前田正名	11月1日	ドイツ領事ブル氏との面会の件	1通
R1	246～249	19	2	川村純義書簡	川村純義	前田正名	5月22日	資料返却の件	1通
R1	251～254	20	1	川上操六書簡	川上操六	前田正名	〔明治23年〕5月20日	荒尾精の件	1通
R1	256～262	20	2	川上操六書簡	川上操六	前田正名	明治25年5月19日	ご著書(『所見』(M25.3))拝読、部下にも読ませたいので20部お送りいただけないか。	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R1	264～269	21	1	上村彦之丞書簡	上村彦之丞	前田正名	〔明治39年〕7月15日	ムーア將軍の来訪、答礼で、新潟行は少々差支えがありますので、出向がかなわず、遺憾です。17日の午後は用事がありますが、午前中は家にいますので御用がございましたらお電話ください。	1通
R1	271～276	21	2	上村彦之丞書簡	上村彦之丞	前田正名	明治39年2月17日	日露戦後対馬警備中、心胆練磨に用いた棒を進呈。	1通
R1	278～285	21	3	上村彦之丞書簡	上村彦之丞	前田正名	〔明治45年カ〕5月31日	棒二本記名しお送りします。町田氏へ返礼の催賛成。金二円用立ください。	1通
R1	287～291	21	4	上村彦之丞書簡	上村彦之丞	前田正名	〔大正4～5年〕7月11日	揮毫の用意ができたことを伝える。また、図書を推薦する。	1通
R1	293～297	21	5	上村彦之丞書簡	上村彦之丞	前田正名	〔明治40年〕1月6日	日露戦行賞に際しての贈物礼状	1通
R1	299～303	22		黒田清隆書簡	黒田清隆	前田正名	明治27年12月20日	叙位について首相に伝える旨の連絡	1通
R1	305～316	23	1	五代友厚書簡	五代友厚	前田正名	〔明治14年〕10月29日	直輸出につき、加藤が今朝松方を訪問して反対論の立場から説得しようとしているが、貴兄と河島も松方を訪問して、松方が説得されないようにしてほしい	1通
R1	318～321	23	2	五代友厚書簡	五代友厚	前田正名	〔明治17年カ〕12月8日	中之島に参りますので、おいでくださいますようお願い申し上げます。	1通
R1	323～328	23	3	五代友厚書簡	五代友厚	前田正名	3月27日	辞表の提出は、どうか今しばらく踏みとどまってください。	1通
R1	330～335	23	4	五代友厚書簡	五代友厚	前田正名	〔明治〕10月28日	昨日は来客が多く伺えませんでしたので今日伺います。ご転任のお話はどうなりましたか。宿屋の手配をいたしますので、近いうちにお知らせください。	1通
R1	337～342	23	5	五代友厚書簡	五代友厚	前田正名	10月26日	明日横浜出張前に愚存申し上げたくお立ち寄り下されたい	1通
R1	344～348	23	6	五代友厚書簡		前田正名	〔明治〕10月26日	本日のご尽力いかがでしたでしょうか。お知らせいただいたくお願いいたします。	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R1	350～353	23	7	五代友厚書簡	五代友厚	前田正名	8月4日	前田から受け取った書類を五代が読んでいるところ、翌日前田が五代邸に立ち寄るように依頼。	1通
R1	355～358	24		西郷従道書簡	西郷従道	前田正名	17日	大久保君の洋行について	1通
R1	360～363	25		西園寺公望書簡	西園寺公望	前田正名	明治45年2月4日	病気になったが快方に向かっているので帰京後お会いしたい	1通
R1	365～369	26	1	佐野常民書簡	佐野常民	前田正名	9月27日	揮毫および来訪の件	1通
R1	371～374	26	2	佐野常民書簡	佐野常民	前田正名	[明治]	漢詩	1通
R1	376～380	26	3	佐野常民書簡	佐野常民	前田正名	[明治] 9月12日	昨日の大集会に対する感謝	1通
R1	382～385	27	1	渋沢栄一書簡	渋沢栄一	前田正名	[明治] 11月29日	12月2日午後2時に王子の別荘にお越しください。川村参議も同席予定。	1通
R1	387～391	27	2	渋沢栄一書簡	渋沢栄一	前田正名	[大正6年] 6月20日	ロシア革命のご視察後、無事ご帰朝、ご会談の件、承りました。朝なら王子の家、昼過ぎなら兜町の事務所にお越しください。	1通
R1	393～396	28	1	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	明治22年8月10日	官有財産管理規則、同法の二案は農、林には余程の関係あり、このまま発布すれば農商務省には余程の不都合はなきか。	1通
R1	398～401	28	2	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	[明治18年] □月6日	加藤正義を共同運輸会社に入れることの依頼	1通
R1	403～408	28	3	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	[明治] 3月27日	前田宛て書簡への再返信	1通
R1	410～417	28	4	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	[明治23年] 5月31日	この際隠遁も一つの方法であろう、長井新吉が渡辺に不興を買った件は収めたい。	1通
R1	419～430	28	5	品川弥二郎書簡		前田正名	明治(22)年5月21日	御見舞、養生第一。	1通
R1	432～435	28	6	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	26日	来訪の約束について	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R1	437～441	28	7	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治18年〕5月4日	高知県山田書記官から、士族授産のため茶、紙事業に対する特別拝借金の件につき、意見を聴取されたし。	1通
R1	443～446	28	8	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治18年〕1月21日	先刻、博物山林管船について、通農工商庶四局に留め置くことに確定、奥、大槻両書記官にもご通知ください。富岡製糸所は農務に入れたが、独立にする方がよいと思う。お考えの上、ご一報ください。	1通
R1	448～452	28	9	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治〕	今朝は先客があつて面談出来ず、残念。先日の件、何卒よろしく。	1通
R2	2～6	28	10	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治22年カ〕1月14日	別紙送付。農商務省山林局内の不祥事の件。林務上本局の人にも少しは顧みる処があるう。	1通
R2	8～12	28	11	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治17年カ〕12月12日	〔興業意見カ〕を一日も早く印刷し、天皇陛下の御覧に備えてほしい。従事の諸氏は疲労につき病気をなさぬよう諭されたい、この後何時討死せねばならぬ用事を御殿より事申付けられるかもしれない、この取調だけで安堵せぬよう申し聞かせてほしい。	1通
R2	14～21	28	12	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治17年〕10月4日	葡萄酒醸造のため、福羽〔逸人〕の派出につき、ご尽力を願う。	1通
R2	23～26	28	13	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治21～23年カ〕□月25日	2枚品物を受け取った。その品物の発明者氏名等が分かれば知らせてほしい。発明品の専売上申案は御下命あると思う。宮島からも昨日少し聞いた。	1通
R2	28～31	28	14	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	2月19日	福羽〔逸人〕の身上について決定事項をお伝え願う	1通
R2	33～37	28	15	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治24年〕12月11日	信用組合法案に付、御面晤致したい。	1通
R2	39～53	28	16	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治22年〕1月8日	山口県地方を夫妻で巡遊、金米糖主義を説きすぎたため歯痛で苦難。林勇蔵、北川清助らと懇談。防長クラブ盛会。	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R2	55～59	28	17	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治23年〕5月27日	松方と昨夕に面会、世間に流布することは免れざるなり、一封早く出した方がよくないか。	1通
R2	61～64	28	18	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	不明	面会の約束を違えてしまい、誠に申し訳ない。	1通
R2	66～72	28	19	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治23年〕3月27日	別紙同封。宮内省による農産物買上についての建言書。	1通
R2	74～77	28	20	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	2月16日	薩人野上啓之介昨年商業学校卒業、茶商に従事希望、実地の学校へ入れてほしい。	1通
R2	79～86	28	21	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治22年〕5月4日	武井（守正）からの書簡転送、暫時気ばりては如何。	1通
R2	88～90	28	22	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治25年4月〕12日	昨日松方とじっくり話した。好都合である。御含みまで申し上げる。	1通
R2	92～96	28	23	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治23年〕1月14日	大磯よりの書状山縣へ申し送り	1通
R2	98～104	28	24	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	明治23年6月23日	高橋帰朝未だ面会せず、播州葡萄園の事に付試みたきことあり。	1通
R2	106～109	28	25	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治18年〕11月18日	息子弥一と東海道を旅行、来月中旬に帰京し、青木公使と面会の上、発程の期日を決める予定。弥一がお世話になり感謝。	1通
R2	110～114	28	26	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治〕□月19日	尊書拝読、今晚武井にて御面会相楽しみです。	1通
R2	116～120	28	27	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	不明	皇后陛下の和歌をご紹介したい	1通
R2	122～127	28	28	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治17年12月〕	この様な処に臨むと悪弊の出勝ち。来月無礼講で諸子に謝す。	1通
R2	129～134	28	29	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	〔明治17年〕11月29日	森有礼と意見書の字句の談に及ぶ、勸奨を職務にかえてもらいたいとの事。この事は過日卿殿よりも談話あり。	1通
R2	136～139	28	30	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	5日	別冊を昨夜20余年ぶりに一読いたしました。何卒御閑暇の節御一読なさるるよう。	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R2	141～145	28	31	品川弥二郎書簡	品川弥二郎	前田正名	5月4日	5月8日以降でご指定いただいた日に参堂する	1通
R2	147～150	29		副島種臣書簡	副島種臣	前田正名	〔明治23年〕5月22日	小子門下之吉原維方貴堂へ一謁を乞度件	1通
R2	152～159	30	1	高島鞆之助書簡	高嶋鞆之助	前田正名	〔明治〕〔1月〕13日	前田正名・高嶋鞆之助連帯の借金について、宮本央からの弁済請求あり。	1通
R2	161～165	30	2	高島鞆之助書簡	高嶋鞆之助	前田正名	〔明治〕□月18日	税所切迫し気の毒、この際保証しては如何。	1通
R2	167～170	30	3	高島鞆之助書簡	高嶋鞆之助	前田正名	25日	良五郎より別紙申遣、汐見も余程困難の事情あり、出来得限り振り向き下されば仕合。	1通
R2	172～175	30	4	高島鞆之助書簡	高嶋鞆之助	前田正名	明治39年3月17日	手紙拝受、ご内示の件、河野氏と協議してみます。	1通
R2	177～180	31		谷干城書簡	谷干城	前田正名	明治19年1月8日	明日、ご来臨をねがう。	1通
R2	182～185	32		寺内正毅書簡	寺内正毅	前田正名	5月28日	日露戦時の砲弾外被で作った刀剣を贈呈す	1通
R2	187～194	33		富岡敬明書簡	富岡敬明	前田正名	〔明治22年〕9月23日	大阪御出張之由勸業課長田口政五郎へ諸事御指示くださったし、三角港にて麦を粉にする機械を求め同所にて製造致したしに付機械の良否、麦ノ種類ノ善悪御示くださったし。	1通
R2	196～204	34	1	中井弘書簡	中井弘	前田正名	明治14年12月29日	お見送りに出向くことができず、失敬。この度の御命令について。ドイツ、フランスの新聞紙条例について取調べてほしい。また、ラッコの皮を送ってほしい。	1通
R2	206～208	34	2	中井弘書簡	中井弘	前田正名	〔明治14年〕11月9日	佛国注文品の御願い	1通
R2	210～212	34	3	中井弘書簡	中井弘	前田正名	不明	出張するのでカバンを拝借したい	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R2	214~217	34	4	中井弘書簡	中井弘	前田正名	〔明治13年10月〕 18日	来る20日の委細承知。しかし、同日前約あり、かつ佐和正氏来訪。21日に延期ならありがたい。	1通
R2	219~222	34	5	中井弘書簡	中井弘	前田正名	11日	明日参上の予定、窓掛の掛替は取りやめ。	1通
R2	224~227	34	6	中井弘書簡	中井弘	前田正名	〔明治22年10月カ〕 27日	世外翁お会いの節、原敬の事御取極め東京へ御一電くださされたし、渡邊杲一郎山林区奉職願う。	1通
R2	228~231	34	6 (別紙)	中井弘	中井弘		〔明治22年〕 □月 15日	内閣のゴタゴタ如何。湖山の幽居より見物を楽しむ。レース丸田事件は宜しく。	1通
R2	233~235	34	7	中井弘書簡	中井弘	前田正名	〔明治〕 □月30日	条約改正の馬鹿議論、憲法抵触は笑止千万。	1通
R2	237~238	34	8	中井弘書簡	中井弘	前田正名	不明	封筒のみ	1通
R2	240~244	35	1	奈良原繁書簡	奈良原繁	前田正名	〔大正3年〕 4月26日	自分の身上に付、別紙の通り松方正義へ依頼したが、なにとぞ貴兄からも松方へ口添えを頼む。	1通
R2	246~249	35	2	奈良原繁書簡	奈良原繁	前田正名	〔大正3年〕 4月18日	山本伯之退職之由致し方なし、拙者身上の儀、後継大隈大臣の意見を窺ってほしい。	1通
R2	251~254	36		西寛二郎書簡	西寛二郎	前田正名	〔明治〕 □月10日	先ほどは失礼。書類はゆっくり拝見します。寒いのでご用心ください。	1通
R2	256~259	37		野津慎武書簡	野津鎮武	前田正名	4月6日	大久保氏をたずねましたところ、御病気の由、驚きました。御養生をお祈りします。	1通
R2	261~264	38		花房義質書簡	花房義質	前田正名	7月21日	ご紹介の件についての世話はお断りする	1通
R2	266~269	39		原敬書簡	原敬	前田正名	2月16日	時節柄繁忙を感じており、予め時日御約束申上たい、貴族院御出席の序拝顔できればよろしくお願ひしたい。	1通
R2	271~275	40	1	日高壮之丞書簡	日高壮之丞	前田正名	2月8日	山本大将訪問の予定、出来たて手製パン進呈。	1通
R2	277~280	40	2	日高壮之丞書簡	日高壮之丞	前田正名	3月30日	本日、沼津駅で面会したいが、腹痛の為行けず申し訳なし。	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R2	282～288	40	3	日高壯之丞書簡	日高壯之丞	前田正名	8年4月7日(消印)	荊妻病気のため貴兄在京洋行前に拝趨致できず遺憾。外交に永久平和の成り立つものなるか。	1通
R2	290～295	40	4	日高壯之丞書簡	日高壯之丞	前田正名	[大正9年] 6月22日	お手紙拝受。25日に当地沼津にお立寄り下さるとのこと、何のおもてなしもできませんが、久しぶりに会食できるのを楽しみにしております。	1通
R2	297～300	40	5	日高壯之丞書簡	日高壯之丞	前田正名	8月18日	酒盛り開始	1通
R2	302～305	41	1	松方正義書簡	松方正義	前田正名	11月26日	急ぎの相談があるので今から家に来てほしい	1通
R2	307～310	41	2	松方正義書簡	松方正義	前田正名	[明治38年] 10月4日	書簡お礼、病気も快方に向かっています。貴君は如何ですか。	1通
R2	312～316	41	3	松方正義書簡	松方正義	前田正名	[明治] 5月11日	三田云々難しく、銀行へは達し済。農商務省から達さないのであれば、大蔵省から達す、御知らせを頼む。	1通
R2	318～321	41	4	松方正義書簡	松方正義	前田正名	8月19日	お礼状	1通
R2	323～326	41	5	松方正義書簡	松方正義	前田正名	12月19日	石川の事は文字の微修正のみにつき、今夜六時頃より御出で願う。その上で相談の積り。	1通
R2	328～333	41	6	松方正義書簡	松方正義	前田正名	[大正7年] 11月26日	お見舞いのお礼。御家政向きを整えて国家のために御尽力ください。	1通
R2	335～336	41	7	松方正義書簡	松方正義	前田正名	不明	封筒のみ	1通
R2	338～353	42		松田道之書簡	松田道之	前田正名	明治14年9月14日	新住居の地として、芝公園内は新たに建てることは不可。芝区共有地は明後日売却できるか否か問い合わせるつもり。小生宅前の山城祐之氏の土地は好適だが如何。	1通
R2	355～359	43		前田献吉書簡	前田献吉	前田正名	12月28日	結構な時計御恵投お礼	1通
R2	361～364	44		三島通庸書簡	三島通庸	前田正名	[明治17年] 10月17日	来る22日の開庁式及び開道式にどうぞご臨席ください	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R2	366～369	45		安場保和書簡	安場保和	前田正名	〔明治14年〕2月27日	婚儀の祝宴に参席する。祝賀の印に品を贈る。	1通
R2	371～377	46	1	山県有朋書簡	山県有朋	前田正名	〔明治32年〕3月26日	五二会の開催日延期はしかるべからず	1通
R2	379～382	46	2	山県有朋書簡	山県有朋	前田正名	5月14日	清話拝聴、十六日御来臨ください。	1通
R2	384～387	46	3	山県有朋書簡	山県有朋	前田正名	〔明治23年〕4月16日	今後10年間の米の出来高と消費高を使いの者に渡してほしい。	1通
R2	389～392	46	4	山県有朋書簡	山県有朋	前田正名	〔明治23年〕2月3日	朝比奈知泉と面談を願う	1通
R2	394～397	46	5	山県有朋書簡	山県有朋	前田正名	〔明治〕5月27日	先日の来訪のお礼、御意見書に感服。明日の御来訪の件承知、ご所望の薔薇もその際選んでください。	1通
R2	399～401	47		山沢静吾書簡	山沢静吾	前田正名	1月23日	お願い申し上げたき件あり、指示通り明朝9時前に参上すべし。	1通
R2	403～406	48	1	山本権兵衛書簡	山本権兵衛	前田正名	1月19日	明日海軍省で御面会	1通
R2	408～410	48	2	山本権兵衛書簡	山本権兵衛	前田正名	明治39年1月27日	在宅日時との連絡	1通
R2	412～415	48	3	山本権兵衛書簡	山本権兵衛	前田正名	〔明治40年〕2月21日	2月24日、元老および前内閣大臣を招いて午餐を差上げるのでご出席を乞う。	1通
R2	417～420	49	1	吉原重俊書簡	吉原重俊	前田正名	30日	明早朝御枉駕いただきたい、先朝より埼玉、岐阜等の人間も見えて面会したい。	1通
R2	422～425	49	2	吉原重俊書簡	吉原重俊	前田正名	12月11日	御意見書拝読しました。早期に実現されることを願ひ、ご返却します。	1通
R2	427～431	50		吉田副官書簡	吉田副官(佐世保鎮守府)	前田正名	〔明治37～38年〕6月3日	便乗の山城丸は出帆の目途立たず、別便にてご都合伺う。	1通
R2	433～438	51		渡辺千秋書簡	渡辺千秋	前田正名	〔明治〕1月12日	御着京でお疲れのところ酔客同行し、御優待、万謝たてまつります。手紙にて失礼します。	1通
R2	440～442	52		不明	不明	前田正名	3月18日	訪問に際し前田の都合を確認	1通

前田正名関係文書(その2) 目録

リール番号	コマ数	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	数量
R2	445～450	53		井上毅書簡 牧野伸 顕宛	井上毅	牧野伸顕	[明治] 5月28日	前田正名君を訪ね、実業教育に関する意見を 聴取してほしい。	446は 包紙
R2	452～455	54		松陰先生遺墨	松陰遺墨	前田正名	不明	漢詩	1通
R2	458	55	0	木戸・大久保・伊地 知三公手簡 [昭和52 年8月追加分 表題 紙]					
R2	459	55	1	も里短歌	も里	前田正名	不明	短歌	1通
R2	460～461	55	2	木戸孝允書簡	木戸孝允	前田正名	[明治2年] 11月 18日	御堀耕助と申ものと御同行いたします	1通
R2	460～461	55	3	伊地知正治書簡	伊地知正治	前田正名	[明治17年] 12月 18日	『興行意見』の完全版を近々恵贈くださると の通知を受け、先度の一帙拾七冊は返上す る。	1通
R2	461～462	55	4	大久保利通書簡	大久保利通	前田正名	[明治10年] 9月 27日	御依頼の扁額ができたので差上げます。三田 育種場にてご用の際は長い方を掛けて下さ い。	1通
R2	461～464	55	5	別紙 伊地知正治氏 の質問	伊地知正治		[明治13年] 8月 21日	別紙 (漁獵、酒、煙草について 他)	1通
R2	462～464	55	6	伊地知正治書簡	伊地知正治	前田正名	明治13年8月26日	水晶紙、伏見辺に御発明の原質のの諸品欧州 輸出の目的如何	1通